

産業委員会

市の産業経済部（農林業、商工業、観光、雇用労働）に関する事項に対応する委員会です。

◎吉田耕造 ○庄司勝義
秋山幸則、川崎 修、河本英敏、谷口圭三
仁木豊司、西野修平、久永良一

今期定例会において、当委員会に付託された議案三件、請願三件、継続審査中の請願三件について、審査した。議案二件は全員一致で原案可決。他の一件は賛成多数で原案可決。次に、継続審査中の請願三件は、賛成多数で継続審査と決した。続いて今議会に提出の請願第一号「日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再



開に反対する請願」は、再開を待ち望む声もあるが、安全・良質な国内、特に県北、作州牛の生産地での畜産業の衰退等を考えた時、あえて安全対策に疑問のある、牛肉の輸入再開を行う必要は無いのではないのか、との意見が出され、全員一致で採択と決した。請願第二号「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願は、国等の方針を見極める必要があるとの意見が出され、賛成多数で継続審査に決した。請願第三号「地産地消自治体

宣言」を求める請願は、既に当市においては、地産地消センター「サンヒルズ」をはじめ、活性化に向けて地産地消に取り組んでいる。しかし、趣旨については全く異論がない。よって全員一致で、趣旨採択に決した。議案第八号「平成十八年度津山市一般会計補正予算（第一次）」で、当委員会の所管に属する事項のうち、商工振興費の、駐車場使用料四百七十二万五千元が、計上されている。その根拠は何か。また、地域交流センターの現況と経費について説明を求めた。本年四月・五月には、一日あたり、約百四十人の利用者があった。今後も、文化活動団体などへの啓発・PRを行い、利用者の増加に努めて行きたい。駐車場については、さんさん・図書館・ベルフォーレ等を基準に、予算計上しており、津山市が主催する催し等についてはサービス券を出している。次に

農業振興費の地域農業システム化事業補助金一千四十九万八千円について説明を求めた。集落営農組織を育成する補助金であり、効率的農業を行う為の機械化に対する助成である。平成十八年度は、ファーム横野においてコンバインと田植え機、西中上地区ではコンバインを購入する計画である。これに対し、転作のことを考えると、今後は、大豆収穫用コンバインの購入を指導してもらいたい、との要望が付された。その他本議案については、家畜胴蹄委託料、津山観光キャンペーン推進会議負担金などについて、質疑や意見が出された。当局からの報告事項として、中鉄バスの北循環線の廃止、新津山市観光ビジョンの策定、「サンヒルズ」の現況などの説明を受けた。中心市街地活性化事業は、三部署にまたがる事業である。支障をきたすことのない体制作りを求めた。

◎ 前ページまでの下の余白の標語について、このような行為を行い、処罰されますと公民権停止の対象となります。